

キッズガーデンの社 カリヨンの社

園長 森本浩司

― 自然・人(ひと)・モノ
とのつきあい ―

「モノと自分と他人」この三つの関係がつながる年齢があります。

「あーあー」と走る電車を指さし、見つけた喜びを笑顔満面で伝え、認めてもらった安心感を感じる。

同時にそんな愛らしさは人を育てる側の力にもなります。

また、古タイヤをひっぱり運ぶ、タイヤに入り込む、ヒモがあれば引っ張るなど、思う存分使えるようになった



手足を使い「モノや自然」との関わりの中、クラスの仲間との「モノ」の取り合いや、保育士とのやり取りなどを通じ、自分に対する自信や肯定感を得ます。

この経験の繰り返しから「他者との正しい関係を学び、人とぶつかることを恐れない力をも」自分の中に育てていきます。子どもたちの前向きに生きる素直な姿を見ると、嬉しく感じます。

老いを迎えた人やハンデを持った人も、心が閉ざされ「生きづらい」と感じている多くの人の心を奮い立たせ、思わず遊びだしそうになるのです。

◇ ◇ ◇
本来の「ハロウィン」は収穫を願う喜び合うお祭り

聞いています。それが「仮装を楽しみ同じ年代の集団で暴挙を許しあう」負の力の発散の場になっている様子には悩ましい限りです。

日本にも「ケンカ祭りや月見泥棒」など、許される良識の範囲で「生きづらい」ことを解き放つ機会はあるもの、それらを抑える「親兄弟や年長者」との繋がりがあつてこそ折り合い点を見つけ、治まっていると思います。

今の時代、モノと本人との関係は過剰となり、他者が入り込みにくい関係になっています。一人で生きていく道具を獲得した人は、独りよがりな理屈で、自分の正しさを発散させています。

◇ ◇ ◇
「モノと自分と他人」の関係性は、乳児期にさかのぼります。

一度失いかけたこれらの機能を大人になってから取り戻すことは大変な時間と労力がかかります。

だからこそ、子どもたちに

は様々な世代や違った考えの人とモノを共有し同じ時間を過ごすことが必要です。同時に「生きづらい」を感じ、苦しむ人たちにも、シンプルに生きる世代との交流空間が必要なのです。「見る」「聞く」「感じる」場があれば、ほんの小さな手助けで心や感覚が動き出すものと信じています。



法人の基本理念(6項目)

- ― 入所者・利用者にとって何が最善であるかを第一に考えます
- ― 地域に開かれた施設であるよう心がけます
- ― 施設は全職員で運営していることの自覚を忘れません
- ― 職員間の協力の基、楽しく明るい職場であるよう心がけます
- ― 施設内はいつも清潔にし、快適性を保つよう心がけます
- ― 自己の健康管理は厳に留意します

(法人事務局)

- ・特別養護老人ホームカリヨンの郷
 - ・軽費老人ホームケアハウスカリヨンの郷
 - ・老人デイサービスセンター「カリヨンの郷」
 - ・カリヨンの郷居宅介護支援事業所
 - ・蟹江町東地域包括支援センター
- 住所 愛知県海部郡蟹江町今伊勢苗代 1-1
TEL 0567-95-8830 FAX 0567-95-8840
URL <http://www.carillon.or.jp/>
E-mail info@carillon.or.jp

(カリヨンの郷新千秋事業所)

- ・老人デイサービスセンター「カリヨンの郷新千秋」
 - ・カリヨンの郷介護サポートセンター「新千秋」
 - ・グループホームカリヨンの郷「新千秋」
- 住所 愛知県海部郡蟹江町新千秋後西 33
TEL 0567-95-6621 FAX 0567-95-6631
- ・特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」
- 住所 愛知県海部郡蟹江町新千秋後西 34
TEL 0567-95-6700 FAX 0567-95-6710

(児童福祉部門)

- ・キッズガーデンカリヨンの社
- 住所 愛知県海部郡蟹江町宝 3-3
TEL 0567-94-1230 FAX 0567-94-1240